



平成 25 年 12 月 18 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 エ ナ リ ス  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 池 田 元 英  
(コード番号：6079 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役  
経 営 管 理 本 部 長 渡 部 健  
( TEL. 03-5284-8326)

## 森林未利用材バイオマス発電事業への参画及びファンド設立に関するお知らせ

株式会社エナリス（本社：東京都足立区、代表取締役：池田元英、以下「当社」）は、この度株式会社フジコー（本社：東京都台東区、代表取締役：小林直人、以下「フジコー」）と合弁で株式会社一戸フォレストパワー（以下「一戸フォレストパワー」）を設立し、岩手県北部に位置する一戸町で森林未利用材バイオマス発電事業（以下「本事業」）に着手することを決議いたしました。

また、当社の連結子会社である株式会社フォレストキャピタル（以下「フォレストキャピタル」）が無限責任組合員となる「緑の電力を創る 1 号投資事業有限責任組合」（以下「緑の電力ファンド」）が一戸フォレストパワーに優先株出資をするにあたり、当社が有限責任組合員として投資事業有限責任組合契約を締結し、緑の電力ファンドに出資を行うことも併せて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 本事業の背景と目的

当社グループは、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法（再生可能エネルギー特別措置法、以下「FIT」）が施行されて以降、日本各地で開発が進んでいる森林未利用材を利用した木質バイオマス発電事業の企画立案、売電戦略、許認可申請、建設工事等のサポート業務を発電事業者向けに行っており、また、かねてより当社グループが主体となって当該事業を行うために、フジコーと協同で当該事業の候補地の探索と事業性検討を行ってまいりました。とりわけ、森林資源の豊富な岩手県北部に着目し、複数の候補地を探索してまいりましたところ、この度、一戸町より、町が開発し所有する一戸インター工業団地において、本事業を行うことについてご理解を賜ることができました。

バイオマス発電は数ある再生可能エネルギーの電源の中でも安定的な発電が可能で、かつ CO2 フリーの電源であり、特定規模電気事業者（以下、「PPS」）にとって魅力的な電源であります。当社の主力事業であるエネルギーマネジメント事業並びにパワーマーケティング事業にとって不可欠な電源であることから、自らの電源としてバイオマス発電を開発する必要性を経営課題として掲げてまいりました。本事業は当社にとって事業戦略上極めて重要な意味を持つと同時に、今後、当社が積極的に推し進めていくバイオマス電源開発の礎となるものと考えております。

本事業で使用する燃料は、岩手県北部を中心に青森県、秋田県にまたがる山林に賦存する間伐材等の製材利用されない未利用材を利用いたします。当該地域は全国的にみても林業が盛んな地域であり、山林における木の賦存量も豊富でございます。本事業においては、森林資源を適正な価格で購入することで、地域の森林整備と林業振興に寄与することも目的のひとつとしております。

また、当社はバイオマス発電所で発電したグリーン電力を地域の公共施設等へ託送供給する「地産地消 P P S」事業を日本各地で推進しておりますが、本事業における電力も一戸町と協議の上、同町の公共施設等に地産地消供給することを計画しております。

## 2. 出資の方法及び日程

### ① 一戸フォレストパワーへの普通株出資

フジコーが発起人となり設立される一戸フォレストパワーに、当社が7,000千円の出資を行い、35%の普通株式を取得することで、当社の関連会社といたします。当社からは取締役1名が就任する予定です。

一戸フォレストパワーの本店は一戸町に置き、地元の会社として地域経済の発展に貢献できる会社にしてまいります。

#### (一戸フォレストパワーの概要)

名称	株式会社一戸フォレストパワー
所在地	岩手県二戸郡一戸町岩館字田中 65 番地 1
代表者の役職・氏名	代表取締役 小林 直人 (株式会社フジコー代表取締役)
事業内容	バイオマス発電事業及び付帯事業
資本金	20,000 千円
設立予定日	平成 26 年 1 月上旬 (予定)
当社出資予定日	平成 26 年 1 月上旬 (予定)

### ② 緑の電力ファンドへの出資

当社の連結子会社であるフォレストキャピタルが無限責任組合員となり組成する緑の電力ファンドと投資事業有限責任組合契約を締結し、当社が有限責任組合員として総額 200,000 千円を出資、フォレストキャピタルが 1,200 千円を出資いたします。緑の電力ファンドは、他の有限責任組合員からの出資 398,800 千円を加え、総額 600,000 千円を一戸フォレストパワーの優先株出資に充当します。なお、営業開始時までには、フジコーも一戸フォレストパワーに 300,000 千円の優先株出資を行う計画であります。

#### (緑の電力ファンドの概要)

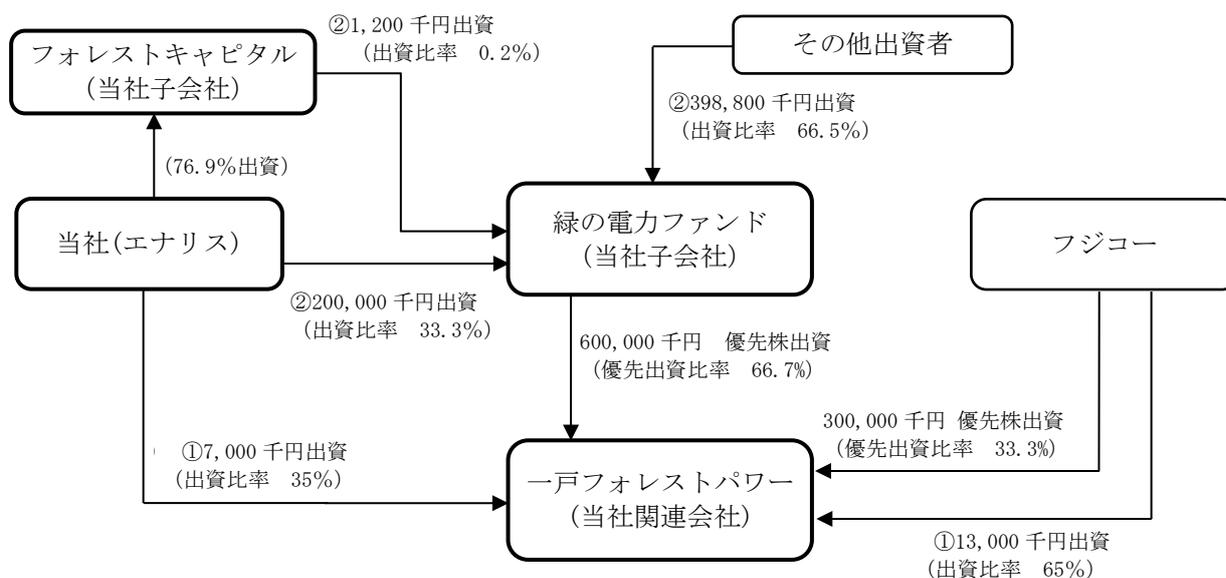
名称	緑の電力を創る 1 号投資事業有限責任組合	
設立根拠等	投資事業有限責任組合に関する法律	
無限責任組合員 (出資比率)	株式会社フォレストキャピタル (0.2%)	
有限責任組合員 (出資比率)	株式会社エナリス (33.3%)、その他投資家 (66.5%)	
募集総額	600,000 千円	
当社出資額、出資時期	出資総額 200,000 千円 (第 1 回目出資 50,000 千円、平成 26 年 1 月予定) (第 2 回目出資 90,000 千円、平成 27 年 4 月予定) (第 3 回目出資 60,000 千円、平成 28 年 2 月予定)	
投資対象	バイオマス発電事業を行う株式会社一戸フォレストパワーの優先株式投資等	
投資期間	10 年間 (但し、3 年間延長可能)	
上場会社と当該ファンドとの間の関係	当該ファンドは当社の連結子会社となる予定です。	
上場会社と無限責任組合員との間の関係	資本関係	当社が 76.9% 出資しております。
	人的関係	当社の役員が 3 名兼務しております。
	取引関係	当社が業務の委託等を行っております。

(フォレストキャピタルの概要)

名称	株式会社フォレストキャピタル
所在地	東京都足立区千住一丁目4番1号 東京芸術センター
代表者の役職・氏名	代表取締役 久保 好孝
事業内容	ファンドの募集・管理及び運用等
資本金	13,000 千円

上記の①及び②の出資の概要は、以下の図のとおりです。

これらにより、緑の電力ファンドが当社の子会社（特定子会社となる予定）となり、さらに一戸フォレストパワーが当社の関連会社となります。



### 3. 本事業の内容

本事業は、岩手県二戸郡一戸町に設立する一戸フォレストパワーとその子会社としてバイオマス燃料製造会社を設立し、岩手県及び秋田県北部、青森県南部の森林木材を燃料としてグリーン電力の発電を行い、別途設立予定の地産地消 P P S 会社を通じて、地元の小中学校、役場等の公共施設、事業会社へ電力供給を行う計画であります。本事業は、地域で発生する木材を燃料として、地元で発電を行い、地域に電力の供給を行う地産地消型の先駆的な事業モデルであると考えております。

本事業においては、フジコーは主にバイオマス燃料の調達・製造と発電所の運営・保守を、当社は主にファンドスキームを用いた資金調達、事業企画及び売電を担うことになっております。

フジコーは平成 19 年より千葉県白井市において建設系の木くずを燃料とした発電出力 1,800kW のバイオマス発電所を運営しており、FIT の設備認定を取得して売電事業を行っております。

一方、当社は創業より一貫して P P S の電力需給管理、BEMS、デマンドレスポンス等のエネルギーマネジメント事業を行ってきたことから、本事業は双方の強みを活かした戦略的アライアンスによって実施されます。

バイオマス発電事業の成功の鍵を握る燃料の長期安定調達につきましては、本事業に対する燃料木材の供給を一元的に担うことになっているノースジャパン素材流通協同組合（本部：岩手県盛岡市、理事長：下山裕司、以下「ノースジャパン」）及び一戸町、地域関係者の方々と「発電施設支援協議会」を立上げ、森林未利用材の安定供給体制の構築及び発電事業の円滑な推進に資するための連絡調整及び協力体制の構築を進めてまいります。なお、ノースジャパンは、青森県、秋田県、岩手県、他の素材生産業者を主体とする組合であり、現在の会員数は森林組合連合会、森林整備協同組合、素材生産業協同組合等を含め 114 社（団体）であります。

発電・燃料化施設（計画）

- ◆ 設置場所： 岩手県二戸郡一戸町岩館字田中 65 番地 1（一戸インター工業団地）
- ◆ 発電出力： 6,250kW
- ◆ 年間発電量： 4,950 万 kWh
- ◆ 年間売電量： 4,300 万 kWh
- ◆ 発電方式： 流動層ボイラーを用いたボイラータービン方式
- ◆ 燃料： 森林未利用材、製材端材
- ◆ 運転開始： 平成 28 年 2 月（予定）
- ◆ 投資総額： 約 28 億円
- ◆ 年間売上： 17 億円（PPS 事業を含む）
- ◆ 雇用人数： 20 名程度
- ◆ CO2 削減量： 29,700 トン/年  
（東北電力の平成 24 年度実排出係数 0.6kg-CO2/kWh にもとづく）

4. 今後の見通し

本事業においては、一戸フォレストパワーの持分法投資損益、地産地消 PPS の電力需給管理業務と卸電力取引、ファンドの収益分配、子会社フォレストキャピタルにおけるファンド管理報酬等の収益を将来期待できますが、平成 27 年 12 月期までの業績への影響は軽微であります。

以上

【ご参考（事業スキーム図）】

